

すくい漁場

長崎県・諫早市



潮の干満の差がきわめて大きい有明海ならではの漁法で、満潮とともに石組みの「すくい」に入った魚が、干潮にしたがい出口の遊水地に集まったところを、手掴みやタモですくい捕る最も原始的な漁法である。

幅約1m、高さ2～3mの石積みをも約330mの馬蹄型に積み上げた石組みは、独特の漁場として地域住民に親しまれてきた。

江戸時代から明治中期頃までは有明海沿岸や島原半島沿岸に200箇所以上確認されたが、台風高波での石組み崩壊や漁獲技術の発達などにより、現在ではそのほとんどが姿を消している。諫早市内では高来町の湯江水の浦のみに現存し、有形歴史資料として諫早市文化財の指定を受けている。

自然条件を巧みに利用した原始的漁法のひとつとして、漁業発達史に特筆されるものであり、現存するものは極めて少なく、工法・漁法とも貴重な財産である。

TOPICS

- ・コスモスまつり 10月下旬 開催（1週間）
- ・とどろき名水まつり 11月第1日曜日 開催
- ・特産物：いちご、みかん、アスパラガス、にら、きゅうり、黒米

お問い合わせ先

諫早市林務水産課、諫早市教育委員会文化課

TEL / 0957-22-1500

URL / <http://www.city.isahaya.nagasaki.jp/index.html>

【交通】

車 / JR湯江駅から5分

